

デジタルフォトフレーム ハンドブック

取扱説明書

目次

使ってみよう

もっと楽しむ

困ったときは

警告・注意

索引



S-Frame



安全のために

→61～65ページもあわせてお読みください。

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。
しかし、電気製品はすべて、誤った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

61～65ページの注意事項をよくお読みください。



定期的に点検する

1年に1度は、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。



故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体またはリモコンが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口へ修理をご依頼ください。



万一異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- 1 電源を切る
- 2 電源プラグをコンセントから抜く
- 3 お買い上げ店またはソニーの相談窓口へ修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。

表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く

お使いになる前に必ずお読みください

再生時に際してのご注意

- ACアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を切ってください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 本機の電源を切っても、電源コンセントにつながれている間は、通電されています。

著作権について

各種CD、TV 映像、画像等著作権の対象となっている著作物、その他あなたが撮影、制作した映像以外のものを複製、編集、印刷することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物、編集物、印刷物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製、編集、印刷や、複製物、編集物、印刷物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。また、本機において写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することになりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。なお、実演、興行、展示物の中には撮影を限定している場合がありますのでご注意ください。

記録内容の保証はできません

万一、本製品の不具合により、記録ができなかった場合、および記録内容が破損

または消去された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になったりします。
- 液晶画面を太陽に向けたままにしないでください。故障の原因となります。
- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。
- 寒い場所で使うと、画面が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

設置について

水の入った物や花瓶などを本機の上に載せないでください。故障の原因になります。

本書での説明について

- 本書で使われているイラストや画面は、実際のものとは異なる場合があります。
- 対象のデジタルフォトフレームはすべての国や地域で取り扱いをしているわけではありません。
- 本書での操作説明は、リモコンでの操作を基本に説明しています。本体とリモコンで操作が異なる場合は、別に説明しています。
- 本書では、特に説明が必要な所を除き、メモリーカードとUSBメモリーをまとめて「メモリーカード」と記します。

目次

使ってみよう

各部の名前	5
本機で使えるメモリーカード／USBメモリー	7
準備① 同梱品を確認する	9
準備② スタンドを取り付ける	10
準備③ 電源を入れる	12
準備④ 初期設定をする	14
スライドショーを楽しむ	15
画面表示を切り換える	17
動画を再生する	21
画像を保存する（取り込み）	22
再生するメモリーを選ぶ	24

もっと楽しむ

スライドショーを音楽といっしょに楽しむ（BGM）	25
画像サイズと位置を調整する	28
画像にマークを付ける	30
画像を絞り込む	32
画像を削除する	33
内蔵メモリーから画像を書き出す	35
自動電源ON/OFFタイマーを使う	37
設定を変更する	40
コンピューターに接続する	44
コンピューターから画像や音楽をコピーする	46

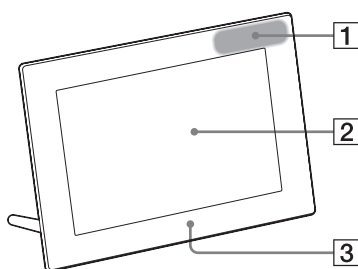
困ったときは

故障かな？と思ったら	48
使用上のご注意	55
保証書とアフターサービス	56
主な仕様	57

警告・注意	61
-------------	----

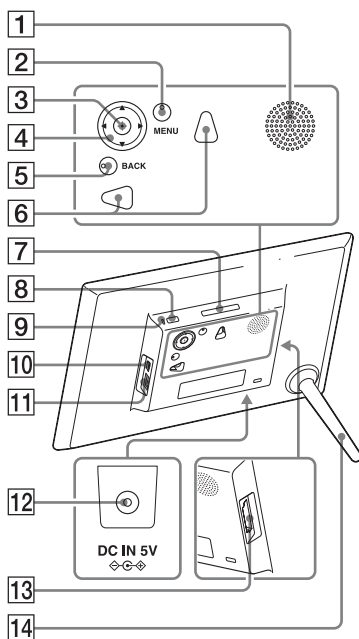
索引	66
----------	----

各部の名前



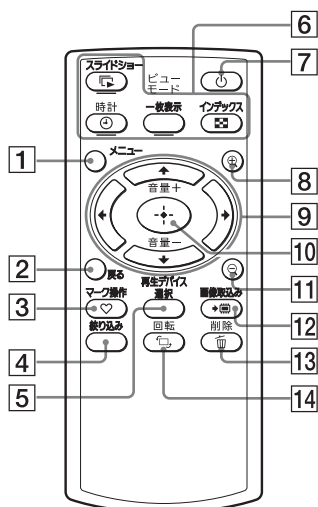
本体前面

- ① リモコン受光部
- ② 液晶画面
- ③ ソニーロゴ (10ページ)

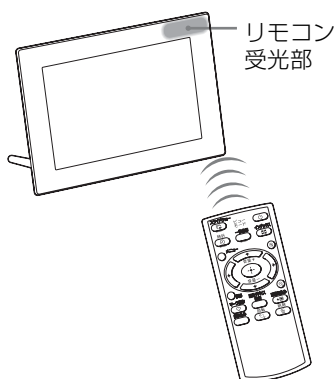
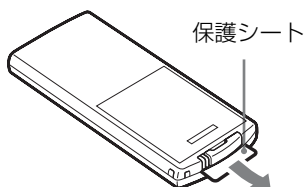


本体背面

- ① スピーカー
- ② MENU (メニュー) ボタン
- ③ 決定 (決定) ボタン
- ④ 方向キー (方向) ボタン
- ⑤ BACK (戻る) ボタン
- ⑥ 壁掛用の穴 (11ページ)
- ⑦ VIEW MODE (ビューモード) ボタン (17ページ)
- ⑧ 電源 (電源) ボタン
- ⑨ スタンバイランプ
- ⑩ USB Mini-B端子 (44ページ)
- ⑪ USB A端子 (15ページ)
- ⑫ DC IN端子 (12ページ)
- ⑬ メモリーカードスロット (15ページ)
- ⑭ スタンド (10ページ)



付属のリチウム電池（CR2025）があらかじめリモコンの中に入っています。図のように保護シートを引き抜いてから使用してください。



リモコン

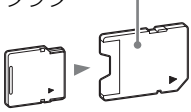
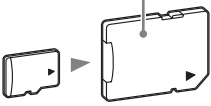
- 1 メニューボタン（40ページ）
- 2 戻るボタン（21ページ）
- 3 ♥マーク操作ボタン（30ページ）
- 4 絞り込みボタン（32ページ）
- 5 再生デバイス選択ボタン（24ページ）
- 6 ビューモードボタン
 - ◀ スライドショーボタン（17ページ）
 - ⌚ 時計ボタン（17ページ）
 - 📄 一枚表示ボタン（17ページ）
 - 📑 インデックスボタン（17ページ）
- 7 ⏻（電源）ボタン（13ページ）
- 8 🔊（拡大）ボタン（28ページ）
- 9 ⬅/➡/⬅➡/➡➡ ボタン（14ページ）
 - 音量+ / 音量- ボタン（21ページ）
- 10 ➡➡（決定）ボタン（14ページ）
- 11 🔍（縮小）ボタン（28ページ）
- 12 ➡📷 画像取込みボタン（22ページ）
- 13 🗑 削除ボタン（33ページ）
- 14 🔄 回転ボタン（29ページ）

リモコンを使うときは

リモコンの先端を、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

本機で使えるメモリーカード／USBメモリー

本機では、デジタルカメラなどから抜いたメモリーカード（“メモリースティックデュオ”、またはSDメモリーカード）や、USBメモリーをそのまま差し込むだけで、すぐに画像の表示ができます。

使えるメモリーカード/USBメモリー	アダプターの取り付け	アダプターの取り付け
	• “メモリースティックデュオ”（マジックゲート非対応/マジックゲート対応） • “メモリースティックPROデュオ” • “メモリースティックPRO-HGデュオ”	不要
	• “メモリースティックマイクロ”（“M2”）	“M2” アダプター（デュオサイズ） 
	• SDメモリーカード • SDHCメモリーカード • SDXCメモリーカード	不要
	• miniSDカード • miniSDHCカード	miniSD/miniSDHC アダプター 
	• microSDカード • microSDHCカード	microSD/microSDHC アダプター 

使ってみよう

使えるメモリーカード/USBメモリー		アダプターの取り付け
	• USBメモリー	

! **ご注意**

- “メモリースティックデュオ”は、32GBまでのソニー製“メモリースティックデュオ”で動作確認を行っています。
- “M2”は、“メモリースティックマイクロ”の略称です。本文では今後略称“M2”を用いて記述します。
- SDメモリーカードは、2GBまでのSDメモリーカードで動作確認を行っています。
- SDHCメモリーカードは、32GBまでのSDHCメモリーカードで動作確認を行っています。
- SDXCメモリーカードは、64GBまでのSDXCメモリーカードで動作確認を行っています。
- すべてのメモリーカードとの接続を保証するものではありません。
- 本機には、“メモリースティックデュオ”スロットが搭載されています。標準サイズの“メモリースティック”は使用できません。
- miniSD/miniSDHC、microSD/microSDHCまたは“メモリースティックマイクロ”をお使いの場合は、必ずカードアダプターを装着してください。そのままスロットに挿入すると、取り出せなくなる場合があります。
- カードアダプターに装着したメモリーカードをさらに別のカードアダプターに装着したものは、本機で使用しないでください。
- 本機にカードアダプターは同梱していません。
- すべてのSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- メモリーカードに関するその他のご注意は、「メモリーカードについてのご注意」(55ページ)をご覧ください。

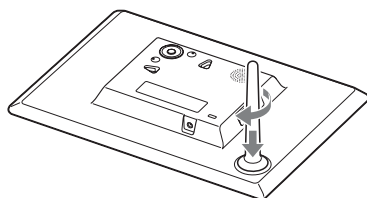
準備① 同梱品を確認する

梱包箱から取り出したら、次の同梱品がそろっているか確認してください。

- デジタルフォトフレーム（1）
- リモコン
- スタンド（1）
- ACアダプター（1）
- はじめにお読みください（1）
- 取扱説明書
デジタルフォトフレームハンドブック（1）
- 保証書（1）

準備② スタンドを取り付ける

スタンドを、時計方向に固定するまで回して取り付ける。



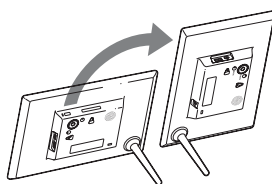
！ ご注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。

縦または横にする

本機は、スタンド部を動かさずに、本体を回転させることにより、縦横どちらでもセットすることができます。

縦にして、操作ボタンが上にくるようにすると、表示も自動的に縦に表示されます。また、本体背面の▼/▲/◀/▶ボタンの操作方向も本体の向きに連動します。

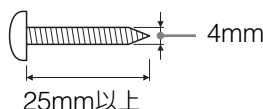


！ ご注意

- 縦置き、または電源OFF時には、Sonyロゴは点灯しません。
- ⚙️(設定) タブの [本体設定] の [自動縦横判別] が [OFF] に設定されていると縦横の自動切り換えを実行しません。
- 動画は、フレームの向きを置き換えても表示は回転しません。
- スタンドを取りはずすときに滑ってまわしにくい場合は、輪ゴムなどを巻くとスタンドを回しやすくなります。
- 縦位置で撮影した回転情報をExif情報に記録できないデジタルスチルカメラで撮影した画像は、自動回転表示ができません。

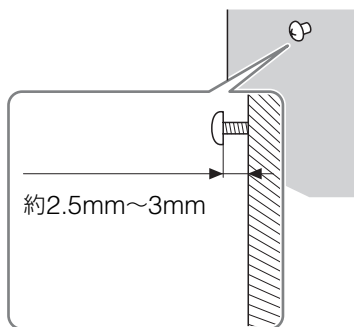
壁にかけて使用するには

- 1 本機背面の壁掛用の穴に合う市販のネジを用意する。



- 2 壁に市販のネジをとめる。

ネジが壁から2.5mmから3mm、突き出した状態で壁に固定します。



- 3 本機背面の壁掛用の穴とネジの位置を合わせてから取り付ける。

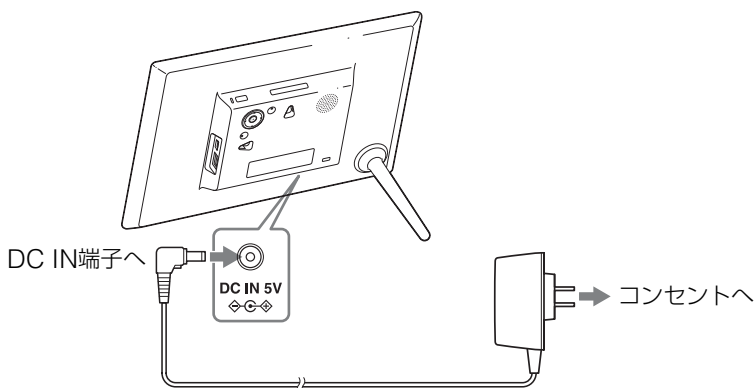
！ ご注意

- 壁の材質や強度に合ったネジを使用してください。壁の材質によっては破損する恐れがあります。
- 取り付けネジが緩んで本体が落下しないように、ネジは柱部分にしっかりと固定してください。
- メモリーカードを差し換えるときは本機をいったん壁から取りはずし、安定した場所で行ってください。
- 本機を壁にかけてご使用する際は、スタンドを取りはずしてください。
- DCコードを本機に接続してから壁にかけ、その後にACアダプターをコンセントにつないでください。
- 取り付けの不備、強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 壁掛け使用時は、本体ボタンで操作すると落下の恐れがあります。リモコンでの操作をおすすめいたしますが、本体ボタンで操作するときは、本体をしっかりと支えながら充分に注意して行ってください。

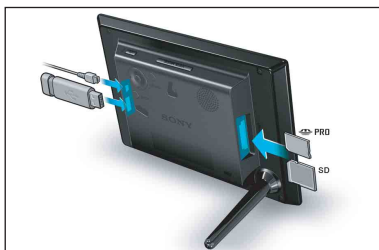
準備③ 電源を入れる

ACアダプターをつなぐ

ACアダプターを下図のようにつなぐ。
自動的に電源が入り、初期画面が表示されます。



初期画面



初めてお使いになるときは

→「準備④ 初期設定をする」（14ページ）へお進みください。

初期設定が終わっているときは

→「スライドショーを楽しむ」（15ページ）へお進みください。

💡 ちょっと一言

- 何も操作せずに一定時間が経過すると、デモンストレーション画面が表示されます。デモンストレーション画面で電源以外のボタンを押すと、初期画面に戻ります。
- デモンストレーション画面の音量を調節するには、▼/▲を押してください。

電源を入／切する

電源を入れるときは

⬇（電源）を押します。本体のスタンバイランプが赤から緑に変わります。

電源を切るときは

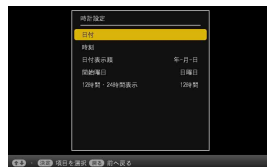
⬇（電源）を電源が切れるまで押したままにします。本体のスタンバイランプが緑から赤に変わります。

❗ ご注意

- 電源を切る前、またはスタンバイランプが赤に変わる前に、ACアダプターをコンセントや本機のDC IN端子から抜かないでください。故障の原因となることがあります。
- ACアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、使い終わったら、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜き、ACアダプターをコンセントから取りはずしてください。
- 付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

準備④ 初期設定をする

- 1 初期画面でメニューを押す。
- 2 ◀/▶で ⚙ (設定) タブを選ぶ。
- 3 ▼/▲で [時計設定] を選び、⏹ (決定) を押す。



- 4 日付を合わせる。
 - ① ▼/▲で [日付] を選び、⏹ (決定) を押す。
 - ② ◀/▶で年、月、日を選び、▼/▲で数値を設定し、⏹ (決定) を押す。
- 5 時刻を合わせる。
 - ① ▼/▲で [時刻] を選び、⏹ (決定) を押す。
 - ② ◀/▶で時、分、秒を選び、▼/▲で数値を設定し、⏹ (決定) を押す。
- 6 日付の書式を選ぶ。
 - ① ▼/▲で [日付表示順] を選び、⏹ (決定) を押す。
 - ② ▼/▲で書式を選び、⏹ (決定) を押す。
 - 年 - 月 - 日
 - 月 - 日 - 年
 - 日 - 月 - 年
- 7 カレンダーの開始曜日を設定する。

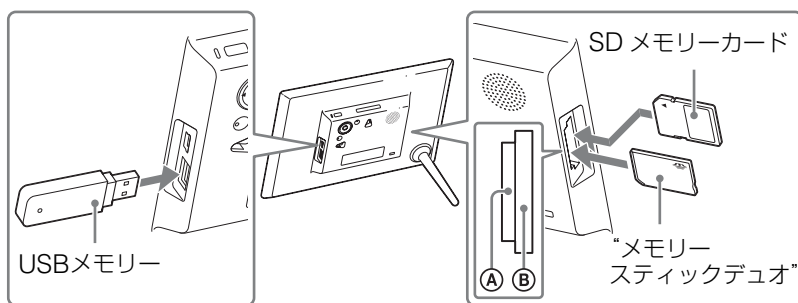
カレンダー表示時にカレンダーの左端の曜日を設定することができます。

 - ① ▼/▲で [開始曜日] を選び、⏹ (決定) を押す。
 - ② ▼/▲で [日曜日] または [月曜日] を選び、⏹ (決定) を押す。
- 8 時間表示を選ぶ。
 - ① ▼/▲で [12時間・24時間表示] を選び、⏹ (決定) を押す。
 - ② ▼/▲で時間表示を選び、⏹ (決定) を押す。
- 9 メニューを押す。

スライドショーを楽しむ

メモリーカードまたはUSBメモリーを差し込む。

本体背面から見て、メモリーカードまたはUSBメモリーの表面を手前にして、それぞれのスロットにしっかりと奥まで入れてください。自動的に再生が始まり、メモリーカードまたはUSBメモリー内の画像が次々に、スライドショー形式で表示されます。



メモリーカードのラベル面を外側に向ける

使ってみよう

💡 ちょっと一言

- スライドショー中に $\blacktriangleleft$ (決定) を押すと、一枚表示画面になります。

メモリーカードを取り出すには

本機のそれぞれのスロットから、メモリーカードを挿入した方向と逆の方向へ引き抜きます。

画面に画像が表示されている間は、メモリーカードを取り出さないでください。メモリーカードの記録内容を破損する場合があります。メニューを押して、メニュー画面を表示させてから、メモリーカードを取り出すことをおすすめします。

ちょっと一言

- メモリーカードを挿入しても再生が始まらない場合は、挿入の向きを確認し、再度メモリーカードを差し込んでください。
- メモリーカードを挿入せず、内蔵メモリーに画像が保存されていない場合は、自動的にデモンストレーション画面が表示されます。画像の入ったメモリーカードを挿入する、または電源以外のいずれかのボタンを押すと、デモンストレーション画面が終了します。

ご注意

- ㊤、㊦スロット、USB端子に同時にメモリーカードやUSBメモリーを挿入すると、正常に動作しません。また、機器の破損の原因となる場合があります。
- メモリーカードからスライドショーを行う場合は以下にご注意ください。
 - － メモリーカードはデバイスの特性上、読み出し回数の多さが原因でデータ化けなどのエラーが発生することがあります。
 - － 少ない枚数での長時間のスライドショーはデータエラーの原因になりますのでおやめください。
 - － メモリーカード内の画像の定期的なバックアップをお勧めします。
- スタンバイモードにせずに電源を切るとスライドショーは続きから再生されません。
- 周囲の明るさに比べ、明るすぎる状態の画面を注視すると気分が悪くなる可能性があります。明るさの設定に注意してご使用ください。

画面表示を切り換える

スライドショー以外のビューモードに切り換えたり、表示スタイルをお好みに合わせて変更したりできます。

1 リモコンの好みのビューモードボタンを押す。

押すボタン	ビューモード
	 スライドショー 画像を次々に表示します。
	 時計・カレンダー 時計やカレンダーを表示します。
	一枚表示 画像を1枚だけ表示します。
	 インデックス 画像をサムネイルの一覧で表示します。

 本体ボタンで操作するときは

- VIEW MODEをくり返し押し、好みのビューモード画面を選択する。

2 お好みのスタイルを選び、 (決定) を押す。

ビューモード選択エリア



スタイル選択エリア

 ちょっと一言

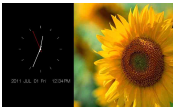
- カーソルがビューモード選択エリアにあるときは、でカーソルをスタイル選択エリアへ移動させてください。
- 時計・カレンダーモードでは、メニューの (設定) タブのみ操作できます。
- 一枚表示モードでは、/で表示する画像を選べます。
- インデックスモードでは、///で画像を選び、 (決定) を押すと、一枚表示画面になります。
- インデックスの一覧を表示しているときにまたはを押すと、表示するサムネイルの大きさが変わり、表示されるサムネイルの数を変えられます。

 **ご注意**

- 一定時間操作が行われないと、カーソル上のスタイルが自動的に決定されます。

使ってみよう

スライドショーの表示スタイル

スタイル	説明	表示の例
シングル	1つの画面を、次々と表示します。	
マルチ	複数画像を用いて表示します。 動画の場合は、最初のフレームを静止画表示します。	
時計	現在の日時を表示しながら、画像を次々に表示します。	
カレンダー	カレンダーを表示しながら、画像を次々に表示します。 現在の日時も表示されます。	
タイムマシン	撮影日時を表示しながら、画像を次々に表示します。 現在の日時は表示されません。	
ランダム	スライドショーの表示スタイルと「エフェクト」(41ページ)をランダムに切り換えながら画像を表示します。	

💡 ちょっと一言

- スライドショーの表示切り換え間隔やエフェクト、シャッフル再生、カラー効果、画像表示方法は「設定を変更する」(40ページ)で設定できます。
- 画像によっては、選択した表示スタイルで、すべての表示が正しく表示されないことがあります。

一枚表示の表示スタイル

スタイル	説明	表示の例
画像全体	画像全体をそのまま表示します。	
画面いっぱい	画像を画面いっぱいに表示します。	
画像全体（情報表示あり）	「画像全体」で表示した状態で画像番号、ファイル名、撮影年月日などの画像情報を表示します。	
画面いっぱい（情報表示あり）	「画面いっぱい」で表示した状態で画像番号、ファイル名、撮影年月日などの画像情報を表示します。	

！ ご注意

- 「画面いっぱい」「画面いっぱい（情報表示あり）」を選んだ場合、画像によっては次のようになることがあります。
 - － 画像のふちの一部が表示されない
 - － 画面いっぱいに表示できない

画面に表示される情報

次の情報を表示します。



①表示スタイル（一枚表示時）

画像全体

画面いっぱい

画像全体（情報表示あり）

画面いっぱい（情報表示あり）

②表示画像番号／全画像数

表示されている画像の入力メディア情報が表示されます。

表示	意味
	内蔵メモリー
	“メモリースティックデュオ”入力
	SDメモリーカード入力
USB	USBメモリー入力

③画像詳細表示

写真の場合

- ファイル形式（JPEG（4:4:4）、JPEG（4:2:2）、JPEG（4:2:0）、BMP、TIFF、RAW）
- 画素数（画像の幅×画像の高さ）
- 画像入力機器のメーカー名
- 画像入力機器のモデル名
- 露出時間（例：1/8）
- 絞り値（例：F2.8）
- ISO感度（例：ISO800）
- 回転情報

動画の場合

- ファイル形式（AVI、MOV、MP4、MPEG-2 PS、MPEG-2 TS）

- ファイルサイズ
- 再生時間
- 動画サイズ（動画の幅×動画の高さ）
- ビデオコーデック
- 音声コーデック

④設定情報

表示	意味
	プロテクト表示
	関連付けファイル表示 （Eメール用の小さな画像や動画などの関連ファイルがあるときに表示されます。）
	マークを付けた場合に表示されます。
	動画ファイル表示

⑤画像番号（フォルダー・ファイル番号）

DCF準拠の画像の場合、表示されます。

非DCFの画像の場合、ファイル名が表示されます。ただし、コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機でファイル名が正しく表示されない場合があります。また、コンピューターなどで作成したファイルは、ファイル名の最初から最大10文字が表示されます。

💡 ちょっと一言

- 英数字のみ表示対象になります。

⑥撮影年月日・撮影時間

💡 ちょっと一言

- 動画ファイルの場合は表示されません。

動画を再生する

- 1 を押す。
- 2 再生したい動画を選択する。
- 3  (決定) を押す。

動画の再生が始まります。

音量を調節するには

再生中または一時停止中に音量+ / 音量- を押してください。

できること	操作
一時停止する	 (決定) を押す。 再開するときは、もう一度  (決定) を押す。
早送り／早戻しする	 /  を押す。  (決定) を押すと、そこから再生が始まる。
再生を停止する	戻るを押す。

ご注意

- 動画ファイルによっては、本機で早送り/早戻しができないものがあります。
- 次のような動画ファイルは再生できません。
 - － 著作権保護された動画ファイル
 - － 幅または高さのどちらかが最大サイズを超える動画ファイル
(上記以外の動画ファイルの動作を保証するものではありません。)
- スライドショー表示中、一時停止、早送り／早戻し操作はできません。
- 撮影時に複数のファイルに分割された動画の連続再生はできません。分割ファイルごとに再生してください。
- データの種類、メモリーカードの転送速度によっては、コマ落ちをすることがあります。
- データの種類によっては、スムーズに再生できないことがあります。
- 動画ファイルの詳細については、撮影されるカメラの取扱説明書をご覧ください。

画像を保存する（取り込み）

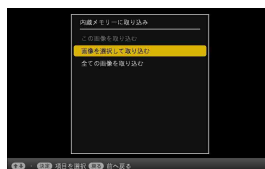
静止画（写真）を保存する

メモリーカードの画像を本機の内蔵メモリーに保存することによって、メモリーカードを抜いても本機で静止画（写真）を楽しむことができます。

💡 ちょっと一言

- 内蔵メモリーに保存する画像のサイズを最適化するか、圧縮せずに保存するかをあらかじめ「画像取り込みサイズ」で設定できます（42ページ）。
- 「リサイズ」の場合、約4000枚保存できます。「原画サイズ」の場合、画像のサイズによって保存できる枚数が変わります。

- 1 メモリーカードの画像を表示した状態で、
➡（画像取り込み）を押す。



💡 本体ボタンで操作するときは

- ①メモリーカードの画像を表示した状態でMENUを押す。
- ②◀/▶で（画像操作）タブを選択してから、▶/▲で「内蔵メモリーに取り込み」を選択し、-▶（決定）を押す。

- 2 項目を選び、-▶（決定）を押す。

【この画像を取り込む】：現在選択している画像を内蔵メモリーに取り込みます。スライドショー選択時は選択できません。

【画像を選択して取り込む】：表示された画像一覧から、取り込みたい画像を選び、-▶（決定）を押します。

複数の画像を同時に取り込みたい場合は、この操作をくり返します。

【全ての画像を取り込む】：すべての画像に「✓」がついた状態で画像一覧を表示します。メニューを押し、フォルダー選択画面を表示します。

- 3 保存先のフォルダーを選び、-▶（決定）を押す。

画像取り込みの確認画面が表示されます。

【新規】を選ぶと、保存先のフォルダーが自動的に作成されます。

- 4 【はい】を選び、-▶（決定）を押す。

画像が書き出されます。

- 5 確認画面が表示されたら、-▶（決定）を押す。

！ ご注意

- 内蔵メモリーに取り込み中は、以下のことをしないでください。本機、メモリーカード、およびデータを破損する場合があります。
 - － 電源を切る。
 - － メモリーカードを抜く。
 - － 他のメモリーカードを挿入する。

動画を保存する

動画ファイルは、メモリーカードから内蔵メモリーに取り込みができません。動画を内蔵メモリーに取り込みたい場合は、本機をコンピューターと接続し、コンピューターの動画を本機の内蔵メモリーにコピーしてください。詳しくは、「コンピューターから画像や音楽をコピーする」（46ページ）をご覧ください。

再生するメモリーを選ぶ

メモリーカードや本体内蔵メモリーなど、見たい画像が保存されているメモリー（デバイス）を指定して、その中の画像を表示します。

1 再生デバイス選択を押す。

💡 本体ボタンで操作するときは

- MENUを押し、◀/▶で ▶（再生デバイス選択）タブを選ぶ。

選択したいメモリーカードが挿入されていない場合は、ここで挿入してください。



2 再生したいメモリーを選び、↵（決定）を押す。

選択したメモリーの画像が表示されます。

⚠️ ご注意

- 時計・カレンダー表示中は、▶（再生デバイス選択）タブを選択できません。

スライドショーを音楽といっしょに楽しむ (BGM)

- 1 メニューを押し、◀/▶で ⚙ (設定) タブを選び、⬇/⬆で [スライドショー BGM設定] を選ぶ。
- 2 [BGM選択] を選び、➤ (決定) を押す。
- 3 内蔵している音楽ファイルの一覧から、再生したい音楽ファイルを選び、➤ (決定) を押す。
選んだ音楽ファイルにチェックマーク「✓」が付きます。
- 4 複数の音楽ファイルを選択したい場合は、手順3をくり返す。
- 5 メニューを押す。
- 6 スライドショーを始める。
「スライドショーを楽しむ」(15ページ) をご覧ください。
チェックマーク「✓」をつけた音楽が再生されます。

音量を調節するには

再生中または一時停止中に音量+/音量-を押してください。

BGMを止めるには

チェックマーク「✓」がついたファイルを選んで➤ (決定) を押し、チェックマークをはずします。

または、メニューの [スライドショー BGM設定] の [BGM ON/OFF] 設定を [OFF] にします。

❗ ご注意

- 再生できるのは内蔵メモリーに取り込んだ音楽ファイルのみです。
- BGMの早送り／早戻し、曲順の変更はできません。
- 動画再生時、BGMは再生されません。動画の音声が生再生されます。また、動画の後の静止画では、次のBGMの最初から再生されます。

音楽を取り込む

好みの音楽ファイルを本機に取り込んで、BGMにすることができます。

💡 ちょっと一言

- 音楽ファイルを取り込む前に、本機で再生可能な音楽ファイルかどうかを必ず確認してください。再生可能な音楽ファイルに関しては、「主な仕様」の「バックグラウンド音楽」（58ページ）をご覧ください。

- 1 音楽ファイルの入ったメモリーカードを挿入する。
- 2 メニューを押し、◀/▶で （設定）タブを選び、▶/◀で [スライドショー BGM設定] を選ぶ。
- 3 [BGM取り込み] を選び、↵（決定）を押す。
- 4 手順1で挿入したメモリーカードを選択する。
- 5 音楽ファイル一覧から、取り込みたい音楽ファイルを選び、↵（決定）を押す。
選んだ音楽ファイルにチェックマーク「✓」が付きます。
選択したファイルを解除するときは、解除したい音楽ファイルを選択して
↵（決定）を押してください。
- 6 複数の音楽ファイルを選択したい場合は、手順5をくり返す。
- 7 音楽ファイルの選択が終わったら、メニューを押す。
- 8 確認画面が表示されたら ↵（決定）を押す。
選んだ音楽ファイルが内蔵メモリーに取り込まれます。

内蔵メモリーに取り込んだ音楽ファイルを削除するには

- ①「音楽を取り込む」（26ページ）の手順2の［スライドショー BGM設定］画面で［BGM削除］を選び、-⏏-（決定）を押す。
- ②表示された音楽ファイル一覧から、削除したい音楽ファイルを選び、-⏏-（決定）を押す。
- ③メニューを押して確認画面が表示されたあと、-⏏-（決定）を押す。
選んだ音楽ファイルが削除されます。

！ ご注意

- 取り込んだ音楽ファイルは、スライドショーのBGMとしてのみ再生可能です。
- 内蔵メモリーに登録されているBGM1、BGM2、BGM3は削除できません。
- 内蔵メモリーに取り込める音楽ファイルは、最大で40曲です。
- 音楽ファイルは、音楽ファイル取り込み選択画面では、200曲まで表示できます。
- 音楽ファイルは、ファイル名のみ表示します。曲名やアーティスト名は表示できません。

画像サイズと位置を調整する

画像を拡大／縮小する

一枚表示中に、拡大するには $\mathbb{Q}$ (拡大)を、拡大したものを縮小するには $\mathbb{Q}$ (縮小)を押す。

倍率は1.5倍から、最大5倍まで選択できます。拡大した画像は上下左右に移動できます。

 本体ボタンで操作するときは

- ①一枚表示中にMENUを押す。
- ② $\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で $\square$ (画像操作)タブを選ぶ。
- ③ $\blacktriangledown/\blacktriangleup$ で[拡大表示]を選び、 $\rightarrow$ (決定)を押す。
- ④ $\blacktriangledown/\blacktriangleup$ で倍率を選び、 $\rightarrow$ (決定)を押す。

拡大／縮小後の画像を保存するには

- ①画像を拡大／縮小した状態でメニューを押す。
- ②保存方法を選ぶ。

[新規保存]：元の画像とは別に保存されます。

- 1.画像を保存するメモリーを選び、 $\rightarrow$ (決定)を押す。
- 2.保存先のフォルダーを選び、 $\rightarrow$ (決定)を押す。

[上書き保存]：元の画像に置き換えて保存されます。

- ③[はい]を選び、 $\rightarrow$ (決定)を押す。
- ④保存の確認画面が表示されたら $\rightarrow$ (決定)を押す。
画像が保存されます。

 ちょっと一言

- 手順1で拡大した画面を $\blacktriangledown/\blacktriangleup/\blacktriangleleft/\blacktriangleright$ で動かした状態でメニューを押すと、表示されている画面がトリミングされた状態で保存されます。
- 画像一覧で $\mathbb{Q}$ / $\mathbb{Q}$ を押すと、サムネイルの大きさを切り換えることができます。

ご注意

- JPEGファイル(拡張子：.jpg、または.jpeg)以外は、上書き保存ができません。
- 拡大した場合は、画像サイズによっては画質が低下することがあります。
- 動画ファイルは拡大・縮小できません。

画像を回転する

一枚表示中に  (回転) を押す。

ボタンを押すたびに画像が反時計回りに90度回転します。



 本体ボタンで操作するときは

- ① 一枚表示中にMENUを押す。
- ②  /  で  (画像操作) タブを選ぶ。
- ③  /  で [回転] を選び、 (決定) を押す。
- ④  /  で回転角度を選び、 (決定) を押す。

 ちょっと一言

- 内蔵メモリーの場合、画像を回転させた情報は、電源を切ったあとも保持されます。
- インデックス表示の画像も回転できます。

 **ご注意**

- 拡大した画像は回転できません。
- 動画ファイルは回転できません。

画像にマークを付ける

好みの画像にマークを付けることによりマークを付けた画像のみを表示してスライドショーなどお楽しみいただけます。マークをインデックスや一枚表示から簡単に確認できます。

1 マークをつけたい画像を表示した状態で♡(マーク操作)を押す。

👁 本体ボタンで操作するときは

①画像を表示した状態でMENUを押す。

②◀▶で☑(画像操作)タブを選択してから、▶▶で「マーク操作」を選択し、▶▶(決定)を押す。

2 お好みのマークを選び、▶▶(決定)を押す。

3 項目を選び、▶▶(決定)を押す。

【この画像に付ける】：現在選択している画像にマークを付けます。(スライドショー選択時は選択できません。)

【画像を選択してマーク操作】：画像一覧が表示されます。

マークを付ける画像を選び、▶▶(決定)を押してください。選択された画像には「✓」がつきます。複数の画像に同時にマークを付ける場合は、この操作をくり返します。

【全ての画像に付ける】：すべての画像に「✓」がついた状態で画像一覧を表示します。

4 メニューを押す。

確認画面が表示されます。

5 【はい】を選び、▶▶(決定)を押す。

選択した画像にマークがつきます。

登録したマークをはずすには

手順3で「この画像から外す」または、「全ての画像から外す」を選び、（決定）を押します。または、マークをはずしたい画像を選んで（決定）を押し、チェックマーク「」をはずすことができます。

ちょっと一言

- 絞り込み（32ページ）を実行している場合、手順3で表示される画像一覧は絞り込みの条件に当てはまる画像のみが表示されます。

ご注意

- マークは内蔵メモリーの画像に設定した場合のみ保存されます。
- メモリーカードの画像に設定したマークは、電源を切ったり、再生デバイスの切り換えを行なったりすると解除されます。

画像を絞り込む

内蔵メモリまたはメモリーカードの中の画像を日付、フォルダー、縦写真／横写真、マーク、動画／写真などの条件から絞り込みます。

1 画像を表示した状態で絞り込みを押す。

🔍 本体ボタンで操作するときは

- ① 画像を表示した状態でMENUを押す。
- ② ⬅➡で📁 (画像操作) タブを選択してから、⬇/⬆で「絞り込み表示」を選択し、
➡ (決定) を押す。

2 絞り込み条件を選び、➡ (決定) を押す。

【日付で絞り込む】：日付から画像を絞り込みます。

【フォルダーで絞り込む】：フォルダーから画像を絞り込みます。

【縦写真／横写真で絞り込む】：画像の向きから画像を絞り込みます。

【マークで絞り込む】：マーク (30ページ) の種類から画像を絞り込みます。

【動画／写真で絞り込む】：動画のみ、または静止画 (写真) のみを絞り込みます。



3 項目を選び、➡ (決定) を押す。

絞り込みを解除するには

絞り込んだ画像を表示中にメニューを押して、「絞り込み解除」を選び、➡ (決定) を押します。

絞り込み条件を変更するには

絞り込んだ画像を表示中に戻るを押します。

📌 ご注意

- 絞り込み中に電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。本機やメモリーカードを破損したり、データを破損したりする場合があります。
- 次の場合は、絞り込みが自動的に解除されます。
 - 再生デバイスを変更したとき
 - メモリーカードの画像を絞り込み、そのメモリーカードを抜いたとき

画像を削除する

1 削除したい画像を表示した状態で (削除) を押す。

 本体ボタンで操作するときは

① 削除したい画像を表示した状態でMENUを押す。

②   で  (画像操作) タブを選択してから、 /  で [削除] を選択し、 (決定) を押す。

2 項目を選び、 (決定) を押す。

【この画像を削除】：現在選択している画像を削除します。

(スライドショー選択時は【この画像を削除】は選択できません。)

【画像を選択して削除】：画像一覧が表示されます。

削除したい画像を選び、 (決定) を押してください。選択された画像には「✓」がつけます。複数の画像に同時に削除したい場合は、この操作をくり返します。

【全ての画像を削除】：すべての画像に「✓」がついた状態で画像一覧を表示します。

3 メニューを押す。

削除の確認画面が表示されます。

4 [はい] を選び、 (決定) を押す。

画像が削除されます。

5 削除が終わり、確認画面が表示されたら (決定) を押す。

ご注意

- 画像を削除中は、以下のことをしないでください。本機、メモリーカード、およびデータを破損する場合があります。
 - － 電源を切る。
 - － メモリーカードを抜く。
 - － 他のメモリーカードを挿入する。
- [プロテクトファイルは削除できません。] というメッセージが表示された場合、その画像はコンピューターで属性を「読み取り専用」に設定されています。本機では削除できないため、コンピューターに接続して、コンピューター上で削除してください。
- 削除を開始すると、途中で中止しても削除した画像を元に戻すことはできません。削除するときは、画像をよく確認してから削除を実行してください。

内蔵メモリーを初期化するには

- 1 メニューを押す。
- 2 /で  (設定) タブを選ぶ。
- 3 /で【工場出荷状態に戻す】を選び、 (決定) を押す。
- 4 【内蔵メモリーの初期化】を選び、 (決定) を押す。
初期化の確認画面が表示されます。
- 5 【はい】を選び、 (決定) を押す。

ご注意

- 初期化を実行すると、内蔵メモリーに追加された画像ファイルはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 内蔵メモリーを初期化したすぐあとでも、内蔵メモリーの総容量と残容量は同じにはなりません。
- コンピューターなど他の機器を使って初期化しないでください。

内蔵メモリーから画像を書き出す

内蔵メモリーに取り込んだ画像を、メモリーカードに書き出すことができます。

- 1 内蔵メモリーの画像を表示した状態で、メニューを押す。
- 2 ◀/▶で (画像操作) タブを選ぶ。
- 3 ▶/◀で【書き出し】を選び、 (決定) を押す。



- 4 項目を選び、 (決定) を押す。

【この画像を書き出す】：現在選択している画像を書き出します。(スライドショー選択時は選択できません。)

【画像を選択して書き出す】：画像一覧が表示されます。

書き出したい画像を選び、 (決定) を押してください。選択された画像には「✓」がつきます。複数の画像に同時に書き出したい場合は、この操作を繰り返します。

【全ての画像を書き出す】：すべての画像に「✓」がついた状態で画像一覧を表示します。

- 5 メニューを押す。

書き出すメモリーカードを選択する画面が表示されます。

- 6 画像を書き出すメモリーカードを選び、 (決定) を押す。



7 保存先のフォルダーを選び、**決定**を押す。

書き出しの確認画面が表示されます。

〔新規〕を選ぶと、保存先のフォルダーが自動的に作成されます。



8 〔はい〕を選び、**決定**を押す。

画像が書き出されます。

9 確認画面が表示されたら**決定**を押す。

画像が指定したメモリーカードにコピーされます。

❗ ご注意

- 画像の書き出し中は、以下のことをしないでください。本機、メモリーカード、およびデータを破損する場合があります。
 - － 電源を切る。
 - － メモリーカードを抜く。
 - － 他のメモリーカードを挿入する。

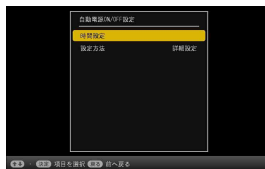
💡 ちょっと一言

- 本機に認識されないメモリーカードは灰色で表示され、選択できません。
- 絞り込み実行中の場合は、絞り込みの条件に当てはまる画像を一覧表示します。

自動電源ON/OFFタイマーを使う

自動的に本体の電源を入/切できるタイマー機能を設定できます。

- 1 メニューを押す。
- 2 ◀/▶で ⚙ (設定) タブを選ぶ。
- 3 ▼/▲で【自動電源ON/OFF設定】を選び、
✚ (決定) を押す。



- 4 【設定方法】を選び、✚ (決定) を押し、項目を選び、✚ (決定) を押す。

【詳細設定】：曜日別に、1時間単位で自由に電源を入/切する時間を設定できます。

【シンプル設定】：1分単位で電源を入/切する時間を設定できます。

【オートオフ設定】：電源を入れたあと、本機を何も操作しないまま一定時間経過すると自動的に電源を切ることができます。

時間は2時間または4時間から選択できます。

- 5 【時間設定】を選び、✚ (決定) を押す。

選んだ設定方法に合わせて、「タイマーの時間を設定する」(38ページ)を
ご覧になり時間を設定してください。

- 6 メニューを押す。

タイマーの時間を設定する

「自動電源ON/OFFタイマーを使う」（37ページ）の手順4で選んだ設定方法に合わせて設定してください。

【詳細設定】を選んだ場合

- 1 ↓/↑/←/→で電源を入れる時間を選び、
-⬇-（決定）を押す。

月曜日から日曜日まで1時間単位で選択します。選択した時間帯が青色になり、本機の電源が入ります。



- 2 ↓/↑/←/→で電源を切る時間を選び、-⬇-（決定）を押す。

月曜日から日曜日まで1時間単位で選択します。選択した時間帯が灰色になり、本機の電源が切れます。

- 3 【確定】を選ぶ。

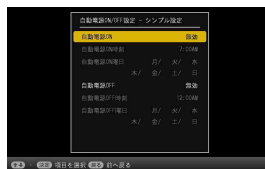
💡 ちょっと一言

- 【詳細設定】で自動電源OFFの設定時間となると、使用中でも電源は自動的に切れます。

【シンプル設定】を選んだ場合

1 時間設定をしたい項目を選ぶ。

〔自動電源ON〕 または 〔自動電源OFF〕 を選んで-⬆- (決定) を押し、〔有効〕 を選び-⬆- (決定) を押します。



2 時刻を設定する。

- ① 〔自動電源ON時刻〕 または 〔自動電源OFF時刻〕 を選び、-⬆- (決定) を押す。
- ② ⬅️/➡️で時、分を選び、⬇️/⬆️で数値設定をし、-⬆- (決定) を押す。

3 曜日を設定する。

- ① 〔自動電源ON曜日〕 または 〔自動電源OFF曜日〕 を選び、-⬆- (決定) を押す。
- ② タイマーを使いたい曜日を選び、-⬆- (決定) でチェックをつける。
- ③ カーソルを〔確定〕へ移動し、-⬆- (決定) を押す。

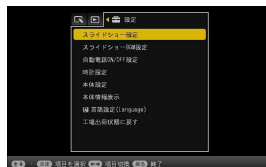
【オートオフ設定】を選んだ場合

〔2時間〕、〔4時間〕 または 〔無効〕 を選び、-⬆- (決定) を押す。

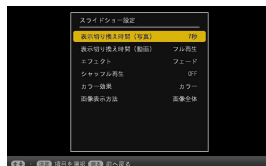


設定を変更する

- 1 メニューを押す。
- 2 ◀/▶で  (設定) タブを選ぶ。



- 3 ▼/▲で設定を変更したい項目を選び、
-⌂- (決定) を押す。
選択した項目の設定画面が表示されます。



- 4 変更したい項目を選び、-⌂- (決定) を押す。
それぞれの項目が設定できるようになります。(41ページ)
- 5 設定値を選び、-⌂- (決定) を押す。
- 6 メニューを押す。
メニューが終了します。

❗ ご注意

- スライドショー表示中など本体の状態によっては、設定できない項目があります。設定できない項目はグレーで表示され、手順4で選択できません。

設定を工場出荷状態に戻すには

- ① メニューを押して、◀/▶で  (設定) タブを選ぶ。
- ② ▼/▲で「工場出荷状態に戻す」を選び、-⌂- (決定) を押す。
- ③ 「設定の初期化」を選び、-⌂- (決定) を押す。
時計設定の日付と時刻以外の設定値を工場出荷時の設定に戻します。

設定項目

*は工場出荷時の設定です。(工場出荷時の設定は、お買い上げの地域により異なることがあります。)

スライドショー設定

設定	内容
表示切り換え時間 (写真)	静止画(写真)を切り換える間隔を3秒、7秒*、20秒、1分、5分、30分、1時間、3時間、12時間、24時間の間で設定します。
表示切り換え時間 (動画)	動画を切り換える間隔を、先頭からの再生時間で設定します。 再生時間は、先頭10秒、先頭15秒、先頭30秒、先頭1分、先頭3分、フル再生*の中から設定します。
エフェクト	センタークロス ：前の画像を十字型に開いて、画像を切り換えます。 ブラインド縦 ：ブラインドを縦に下ろすように、画像を切り換えます。 ブラインド横 ：ブラインドを横に引くように、画像を切り換えます。 フェード* ：2枚の画像をフェードアウト、フェードインで切り換えます。 ワイプ ：一方へ前の画像を上から覆うように、画像を切り換えます。 ランダム ：上記の5種類のエフェクトをランダムに使用して画像を切り換えます。
シャッフル再生	ON ：画像を順不同に表示します。 OFF* ：「本体設定」の「画像表示順」に従って画像を表示します。
カラー効果	カラー* ：画像をカラーで表示します。 セピア ：画像をセピアで表示します。 モノクロ ：画像をモノクロで表示します。
画像表示方法	画像全体 ：画像全体を適切な大きさまで拡大して表示します。(上下左右に黒い帯が表示されることがあります。) 画面いっぱい* ：画像の縦横比はそのまま、上下左右を一部カットして画面いっぱいに表示します。

！ ご注意

- スライドショーのスタイルや画像サイズ、カラー効果によっては、設定した切り換え間隔で画像が切り換わらないことがあります。
- 動画再生時は「カラー効果」の設定によらず、常に画像をカラーで表示します。
- スライドショー設定で表示サイズを変えても、画像データ自体は変更されません。
- スライドショーのスタイルによっては、設定したサイズで表示されないことがあります。
- 動画再生時スライドショーは、「画像表示方法」の設定を変えても画像全体が表示されます。

スライドショー BGM設定

設定	内容
BGM ON/OFF	ON* ：スライドショー中にBGMが再生されます。 OFF ：スライドショー中にBGMは再生されません。
BGM選択	内蔵メモリー内の音楽ファイルが表示され、BGMを選択します。(BGM1*、BGM2*、BGM3*) (25ページ)
BGM取り込み	BGM用の音楽ファイルをメモリーカードから内蔵メモリーに取り込みます。(26ページ)
BGM削除	内蔵メモリーに取り込まれている音楽ファイルを削除します。

自動電源ON/OFF設定

自動的に本機の電源を入／切するタイマーを設定します。(37ページ)

時計設定

日付や時刻、カレンダー表示の開始曜日などを設定します。(14ページ)

本体設定

設定	内容
画像表示順	画像を表示する順番を設定します。設定した項目がスライドショー設定の再生順に反映されます。 撮影日時順 ：撮影日時順に画像を表示します。 画像番号順* ：画像番号順に画像を表示します。
自動縦横判別	本体の向きに合わせて表示を切り換える機能をON*/OFFに設定します。
液晶の明るさ	液晶画面の明るさを1～10*のレベルで設定します。
画像取り込みサイズ	リサイズ* ：メモリーカードから画像を取り込む際に、画像をリサイズして内蔵メモリーに保存します。より多くの画像を保存できます。ただし、コンピューターなどを使用して大型モニターに表示した場合、元の画像よりも、画質が劣化します。 原画サイズ ：画像を圧縮せずにそのまま内蔵メモリーに保存します。画質の劣化はありませんが、保存できる画像の枚数が少なくなります。
Sonyロゴ点灯	本機のSonyロゴの点灯をON*/OFFで設定します。

本体情報表示

設定	内容
バージョン	本機のファームウェアのバージョンが表示されます。
内蔵メモリー	総容量 ：初期状態において内蔵メモリーで利用可能な最大容量が表示されます。 残容量 ：現在使用可能な内蔵メモリーの空き容量が表示されます。

言語設定

液晶画面に表示される言語を設定します。

日本語＊／英語／フランス語／スペイン語／ドイツ語／イタリア語／ロシア語／韓国語／中国語（簡体字）／中国語（繁体字）／オランダ語／ポルトガル語／アラビア語／ペルシア語／ハンガリー語／ポーランド語／チェコ語／タイ語／ギリシャ語／トルコ語／マレー語／スウェーデン語／ノルウェー語／デンマーク語／フィンランド語

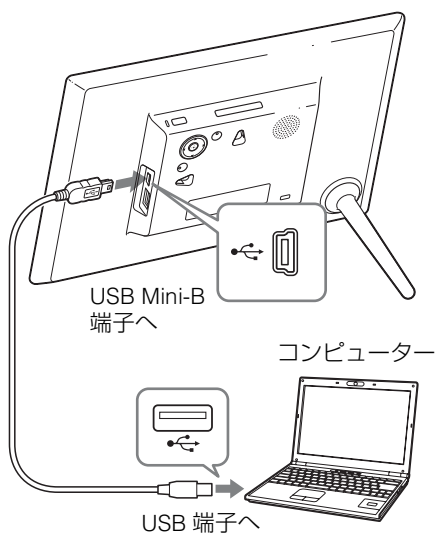
工場出荷状態に戻す

設定	内容
内蔵メモリーの初期化	内蔵メモリーを初期化します。（34ページ）
設定の初期化	すべての設定値を工場出荷時の設定に戻します。ただし、時計設定の日付と時刻の設定は保持されます。（40ページ）

コンピューターに接続する

本機とコンピューターをつなぎ、コンピューターから本機の内蔵メモリーの画像を閲覧、コピーしたり、コンピューターの画像を本機にコピーしたりすることができます。

- 1 ACアダプターを本機につなぎ、コンセントに差し込み電源を入れる。
- 2 コンピューターと本機を市販のUSBケーブルで接続する。



必要なシステム構成

Windows

推奨OS：Microsoft Windows 7 SP1/Windows Vista SP2/Windows XP SP3/Windows 8

ポート：USBポート

Macintosh

推奨OS：Mac OS X（v10.4以降）

ポート：USBポート

コンピューターとの接続を切断するには

以下の手順でコンピューターとの接続を切断してからUSBケーブルを抜いたり、本機の電源を切ってください。

- ① タスクトレイの（ハードウェアの安全な取り外し）をクリックする。
- ②  リムーバブルディスクの取り出しをクリックする。
- ③ メッセージにしたがって、USBケーブルを抜く。

！ ご注意

- USBケーブルは、Mini-B TYPEをお使いください。市販のUSBケーブルをお使いになる場合は、長さ3m未満のMini-B TYPE（フレーム側コネクタタイプ）をお使いください。
- 1台のコンピューターに複数のUSB接続をしたり、またはハブを使用したりした場合は、不具合が発生することがあります。
- 同時に接続された他のUSB機器から本機を操作することはできません。
- データ通信中はUSBケーブルを抜き差ししないでください。
- 推奨環境を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。
- USB接続については、コンピューターとの接続で動作確認を行っています。その他の機器に接続した場合、内蔵メモリーを参照できない場合があります。
- USB A端子にUSBメモリーを接続しているときに、同時にUSB Mini-B端子とコンピューターを接続しないでください。
- USBハブやUSBハブを内蔵したUSB機器は正常に動作しない場合があります。

コンピューターから画像や音楽をコピーする

💡 ちょっと一言

- Microsoft Windows 7 SP1での例です。お使いのOSにより、画面表示、操作方法は異なることがあります。

1 コンピューターに接続する。

「コンピューターに接続する」（44ページ）をご覧ください。

2 コンピューターの画面に【自動再生】画面が表示されたら、【フォルダーを開いてファイルを表示】をクリックする。

【自動再生】画面が表示されない場合は、「コンピューター」からリムーバブルディスクを選び、開いてください。

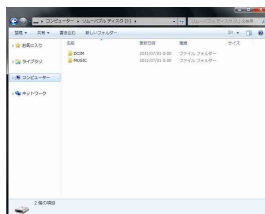
コピーしたいファイルに応じて、「画像をコピーする」または「音楽をコピーする」を続けて操作してください。

画像をコピーする

「コンピューターから画像や音楽をコピーする」（上記）の手順2に続けて操作してください。

1 カーソルをウィンドウの中に移動して右クリックし、【新規作成】→【フォルダー】をクリックする。

作成したフォルダーに名前をつけます。ここでは仮に「sony」としています。



2 作成した「sony」フォルダーを開く。

3 コピーしたい画像ファイルが保存されているフォルダーを開き、ドラッグ・アンド・ドロップで「sony」フォルダーにファイルをコピーする。

！ ご注意

- コンピューターから画像を保存するときは、コンピューター上で内蔵メモリーにフォルダーを作って、そのフォルダーに保存してください。フォルダーを作成せずに保存できる画像ファイル数は、最大512枚までです。さらに、ファイル名の長さや文字の種類によって、保存できる枚数が減少する場合があります。
- コンピューター上で画像ファイルを編集または保存すると、撮影日時の情報が変更されたり失われたりする場合があります、インデックス表示などが撮影日時の順番で表示されないことがあります。
- コンピューター内の画像ファイルを、本機の内蔵メモリーに保存する場合、画像ファイルは圧縮されずに保存されます。そのため、本機の内蔵メモリーに保存できる画像の枚数が少なくなる場合があります。
- コンピューター上で作製、加工した画像ファイルは、本機では表示できない場合があります。また、コンピューター上で「読み取り専用」属性に設定されている画像ファイルは、本機では削除できません。保存する前に属性を変更してください。

音楽をコピーする

「コンピューターから画像や音楽をコピーする」（46ページ）の手順2に続けて操作してください。

- 1 カーソルをウインドウの中に移動して、「MUSIC」フォルダーをダブルクリックする。
- 2 コピーしたい音楽ファイルが保存されているフォルダーを開き、ドラッグ・アンド・ドロップで、「MUSIC」フォルダーにファイルをコピーする。

！ ご注意

- 音楽ファイルは、「MUSIC」フォルダー内へコピーしてください。「MUSIC」フォルダー外へコピーした音楽ファイルは、再生できません。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をご確認ください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

■ 電源

電源が入らない。

- 電源プラグは正しく差し込んでありますか？
→ 正しく接続してください。

何も反応しない。

- 電源を一度切り、再度入れなおしてください。(13ページ)

■ 画像を表示する

画面に画像が表示されない。

- メモリーカードは正しく挿入されていますか？
→ 正しく挿入してください。(15ページ)
- メモリーカードにはデジタルカメラなどで保存した画像が入っていますか？
→ 画像の入っているメモリーカードを入れてください。
→ 表示可能なファイルフォーマットを確認してください。(57ページ)
- ファイルフォーマットはDCFに準拠していますか？
→ DCFに準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。
- 画像が壊れていませんか？
→ 画像が壊れている場合、画像を判別し、マークが表示されるまでに、約1分の時間がかかる場合があります。画像が表示されるまでに時間がかかる場合は、コンピューター上で、画像が正しく表示されるか、確認してください。
- [画像がありません。] というメッセージが表示された。
→ 本機で表示できる画像ファイルの入ったメモリーカードを挿入しなおしてください。

❗ ご注意

音楽ファイルのみ入ったメモリーカードを挿入したときも、このエラーメッセージが表示されます。

- [この画像を開くことが出来ません。] というメッセージが表示された。
→ サポートしていないフォーマットの画像ファイルを開こうとしています。

- [サポートしていないフォーマットです。] というメッセージが表示された。
 - ➔ メモリーカードの場合、ご使用のデジタルカメラなどでフォーマットを行ってからご使用ください。内蔵メモリーの場合は、本機で初期化してください。ただし、初期化すると中のファイルはすべて削除されます。
 - ➔ USBメモリーの場合は、コンピューターなどでフォーマットを行ってからご使用ください。

撮影日時順に表示されない。

- コンピューターで編集した画像ではありませんか？
 - ➔ コンピューター上で保存すると、ファイルの更新日時が変更されるため、撮影日時ではなく、保存された日時の順番で画像が表示されることがあります。

一部の画像が表示されない。

- インデックス表示で画像が表示されていますか？
 - ➔ インデックス表示で画像が表示されているのに一枚表示できない場合は、サムネイルと呼ばれる表示用データは問題ありませんが、一枚表示させるための画像データが壊れている可能性があります。
 - ➔ DCFに準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。
- インデックス表示で、 または  が表示されていますか？
 - ➔ コンピューターで作成したJPEGファイルなど、本機が対応していない画像ファイルです。 マークを選択し、 (決定) を押して一枚表示画面にしても、 マークが表示される場合は本機で対応できない画像ファイルのため、表示はできません。
 - ➔ 本機が対応している画像ファイルですが、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データが開けないか、または本画像が開けません。 マークを選択し、 (決定) を押して一枚表示画面にしても、 マークが表示される場合は表示はできません。
- コンピューターのアプリケーションで作成した画像ではありませんか？
 - ➔ コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機で画像が表示できない場合があります。
- メモリーカード内に8階層を超えるフォルダーがありませんか？
 - ➔ 8階層を超えるフォルダー内にある画像データは、本機では表示できません。

ファイル名が正しく表示されない。

- コンピューターなどでファイル名を変更しましたか？
→ コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機でファイル名が正しく表示されない場合があります。また、コンピューターなどで作成したファイルは、ファイル名の最初から最大10文字が表示されます。

ファイルが表示されない。

- 画像情報を含まないファイルではありませんか？
→ 音声情報のみからなるファイルは表示されません。

■ 動画を再生する

画面に動画が再生されない。

- インデックス表示、一枚表示で  マークが表示されていますか？
→ 本機が対応していない動画ファイルです。(58ページ)

早送り/早戻しができない。

- 動画ファイルによっては、本機で早送り／早戻しができないものがあります。

■ 画像を保存、削除する

保存できない。

- メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？
→ 書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。
- メモリーカードの誤消去防止スイッチが [LOCK] になっていませんか？
→ 誤消去防止スイッチを解除してください。
- メモリーカードが一杯になっていませんか？
→ 不要な画像を削除してください。(33ページ) または、十分なメモリー残量のあるメモリーカードに交換してください。
- 内蔵メモリーが一杯になっていませんか？
→ 不要な画像を削除してください。(33ページ)
- フォルダーを作成せずにコンピューターから画像を保存していませんか？
→ フォルダーを作成していない場合、保存できる画像ファイル数は最大512枚までです。さらに、ファイル名の長さや文字の種類によって、保存できる枚数が減少することがあります。コンピューターから画像を保存するときは、コンピューター上で内蔵メモリーにフォルダーを作成して、そのフォルダーに保存してください。
- [メモリースティック／SDメモリーカードにエラーがあります。] または、[メモリースティック／SDメモリーカードへの書き込みエラーです。] というメッセージが表示された。

- メモリーカード内で何らかのエラーが発生していることを示します。メモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。何度もこのエラーが表示される場合は、本機以外の機器でもメモリーカードの状態をご確認ください。
- [内蔵メモリーにエラーがあります。] または、[内蔵メモリーへの書き込みエラーです。] というメッセージが表示された。
 - 内蔵メモリー内で何らかのエラーが発生していることを示します。内蔵メモリーは初期化を行ってください。初期化を実行すると、内蔵メモリーに追加された画像ファイルはすべて消去されますので、ご注意ください。
- [メモリースティックは保護されています。] というメッセージが表示された。
 - 保護されている“メモリースティック”が挿入されていることを示します。画像の編集、保存を行う場合は、お手持ちの機器で保護を解除してください。

削除できない。

- メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？
 - お手持ちの機器で書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。
- メモリーカードの誤消去防止スイッチが [LOCK] になっていませんか？
 - 誤消去防止スイッチを解除してください。
- “メモリースティック-ROM” ですか？
 - “メモリースティック-ROM” については、画像の削除と初期化はできません。
- プロテクトされた画像ではありませんか？
 - 一枚表示画面から撮影情報表示を確認してください。(20ページ)
- [プロテクトファイルは削除できません。] というメッセージが表示された。
 -  マークのある画像は読み取り専用画像です。本機からは削除できません。

誤って消してしまった。

- 1度削除したファイルは元に戻せません。

■ 音楽を取り込む

音楽ファイルが取り込めない。

- 音楽ファイルだけ入ったメモリーカードを挿入していませんか？
→ 音楽ファイルだけ入ったメモリーカードを挿入した場合、「画像がありません。」というエラーメッセージが表示されます。カードを入れ換えず、そのまま-⌂-(決定)を押してください。

■ 音楽を再生する

音楽が再生できない。

- 本機で再生可能な音楽ファイルですか？
→ 本機で再生可能な音楽ファイルかどうか確認してください。(58ページ)
→ 音楽ファイルは、内蔵メモリーに取り込まないと、再生できません。
- [BGM ON/OFF] 設定が [OFF] になっていませんか？
→ [ON] にしてください。(42ページ)

保存した音楽が、BGM選択できない。

- コンピューターを使って音楽ファイルを、内蔵メモリーに保存しませんでしたか？
→ コンピューターを使って音楽ファイルを保存する場合、本機内蔵メモリー内の「MUSIC」フォルダー内へ音楽ファイルを保存してください。「MUSIC」フォルダー外へ音楽ファイルを保存した場合は、BGM選択の音楽ファイル一覧に表示されないので、音楽は再生することができません。

■ 本体

何も反応しない。

- 電源を一度切り、再度入れなおしてください。(13ページ)

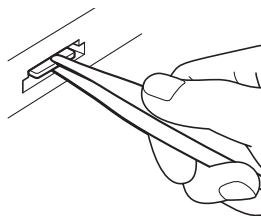
「内蔵メモリーをリフレッシュしますか？」と表示された。

- 「リフレッシュモードについて」(53ページ)をご覧ください。

メモリーカードが取り出せなくなりました。

→miniSDメモリーカードやmicroSDメモリーカード、“メモリースティックマイク”を誤って挿入した場合、ピンセットなどの先の細い道具をお使いいただくことで取り出せる場合があります。

取り出す際には、道具で、本体やカードに傷がつかないように充分ご注意ください。無理に引き抜くと故障の原因になりますので、取り出せない場合は、ソニーの相談窓口へご相談ください。



■ リモコン

何も反応しない。

- 電池は入っていますか？
 - 電池を交換してください。(54ページ)
 - 電池が正しく入っていません。(54ページ)
- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて操作していますか？(6ページ)
- 本体のリモコン受光部の近くには物を置いていませんか？
- 保護シートが入っていませんか？
 - 保護シートを引き抜いてください。(6ページ)

リフレッシュモードについて

内蔵メモリーに保存された画像は、デバイスの特性上、時間の経過や読み出し回数の多さが原因でデータ化けなどのエラーが発生することがあります。このようなエラーを防ぐため、ご使用状況に応じて自動で内蔵メモリーのリフレッシュを行います。

リフレッシュが必要なタイミングになると、リフレッシュ画面が自動で表示されます。表示されたリフレッシュ画面で「はい」を選択してください。または30秒間無操作で自動的に開始します。

「いいえ」を選択すると、再度必要なタイミングでリフレッシュ画面が表示されます。

リフレッシュには5分程度かかる場合があります。

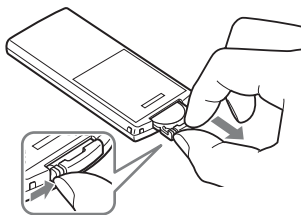
❗ ご注意

- 内蔵メモリーのリフレッシュ中は、本機の電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。
- 内蔵メモリー内の画像データは、こまめにバックアップをとってください。
- 10枚以下の画像数で、スライドショー切り換え間隔が3秒での継続したご使用はお控えください。内蔵メモリーの画像を保護できない場合があります。

リモコンの電池を交換するには

リモコンが動作しなくなったら、新しい電池（CR2025リチウム電池）に交換してください。

- 1 電池ホルダーのタブを内側に押し込みながら、電池ホルダーを引き出す。



- 2 新しい電池を+面が上になるように入れ、電池ホルダーを元どおりリモコンに挿入する。

❗ ご注意

- 指定以外の電池を使うと、破裂のおそれがあります。
- 使用済みの電池は、自治体の定めた方法で処分してください。
- 高温多湿の場所にリモコンを放置しないでください。
- 電池の交換時などに、リモコン内部に異物が入らないようにしてください。
- 電池は正しく使わないと、液漏れや腐敗のおそれがあります。
 - 充電はしないでください。
 - リモコンを長期間使用しないときは、液漏れや腐敗を防ぐため、電池をリモコンから抜いてください。
 - 間違った入れ方をしたり、ショートさせたり、分解、加熱、火中に投入したりすると、破裂や液漏れのおそれがあります。

使用上のご注意

設置上のご注意

- 水平な場所に置いてください。
- ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
 - － 不安定なところ
 - － ほこりの多いところ
 - － 極端に寒いところや暑いところ
 - － 振動の多いところ
 - － 湿気の多いところ
 - － 直射日光の当たるところ

ACアダプターについてのご注意

- 電源コンセントの形状は各国、各地によって異なりますのでお出かけ前にご確認ください。本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因になります。
- 付属以外のACアダプターを使用しないでください。

結露について

結露とは、寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部に水滴がつくことです。

この状態で本機を使用すると、正常に動かず、故障の原因となります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

引っ越しなどで輸送する場合は

輸送する場合は、メモリーカード、ACアダプター、ケーブル類を本体から取りはずし、本機が梱包されていた梱包材および梱包箱に入れてください。これらが無い場合は、輸送中の衝撃に耐えるように梱包してください。

お手入れ

本機の汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかくしぼってから、汚れをふきとってください。シンナーやベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

メモリーカードについてのご注意

“メモリスティックデュオ”

- 使用可能な“メモリスティックデュオ”についての最新情報は、ホームページ上の「“メモリスティック”対応表」をご確認ください。
- 本機はFAT32に対応しています。ただし、すべての“メモリスティックデュオ”メディアの動作を保証するものではありません。
- 著作権保護技術（“マジックゲート”）が必要なデータの読み込み、記録はできません。“マジックゲート”とは、ソニーが開発した、暗号化技術を使って著作権を保護する技術の総称です。
- 本機は、8ビットパラレルデータ転送には対応しておりません。
- “メモリスティックデュオ”を初期化するときは、ご使用になっているデジタルカメラで初期化してください。コンピューターでフォーマットした場合、画像が表示されないことがあります。
- フォーマットを実行するとプロテクトをかけてある画像ファイルもすべて削除されます。誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。
- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると保存、削除ができなくなります。
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。また、ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部にはみ出さないように貼ってください。

困ったときは

SDメモリーカード

- 市販のカードアダプターによっては、裏面中央部に端子が出ているものがあります。本機では、このようなタイプのアダプターは正しく動作しない場合があります。
- 著作権保護技術が必要なデータの読み込み、記録はできません。
- 正しい挿入方向をお確かめのうえでご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となります。
- メモリーカードを挿入するとき、無理な力を加えると、メモリーカードまたは本機を破損するおそれがあります。
- データの読み込み中、アクセス中に、メモリーカードを抜かないでください。または電源を切らないでください。データが消えたり壊れたりすることがあります。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- コンピューターで加工した画像は、再生できないことがあります。
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
 - － 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
 - － 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
 - － 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項に記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間でです。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください。ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：DPF-HD800
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルフォトフレームの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低5年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

主な仕様

本体

型名	DPF-HD800
液晶表示画面	
液晶パネル	8型、TFT駆動
総ドット数	1,152,000ドット（800×3（RGB）×480）ドット
有効表示画面	
表示アスペクト比	16:10
実表示エリア	7.3型
総ドット数	969,744ドット（712×3（RGB）×454）ドット
液晶バックライト寿命	20,000時間（バックライトの輝度が半減するまでの時間）
入出力端子	USB端子（Mini-B TYPE、Hi-Speed USB） USB端子（A TYPE、Hi-Speed USB） “メモリースティックPRO”（デュオ）／SDメモリーカードスロット
再生可能な ファイルフォーマット*1	JPEG：DCF2.0、Exif2.3、MPF baseline、MPF extended*2、JFIF TIFF：Exif2.3 準拠 BMP：1, 4, 8, 16, 24, 32 ビット（Windows形式） RAW*3：SRF, SR2, ARW2.2（プレビューのみ）
静止画（写真）	
動画*4*5*6	MPEG-4 AVC/H.264 拡張子：mp4、mts プロファイル：Baseline Profile、Main Profile、High Profile レベル：4.2以下 解像度：最大1,920×1,080 音声形式：Dolby Digital、AAC

困ったときは

型名	DPF-HD800
再生可能な ファイルフォーマット	MPEG-4 Visual 拡張子：mp4 プロファイル：Simple Profile、Advanced Simple Profile、Advanced Coding Efficiency Profile レベル：6以下（Simple Profile）、5以下（Advanced Simple Profile）、4以下（Advanced Coding Efficiency Profile） 解像度：最大1280×720 音声形式：AAC-LC MPEG-1 Video 拡張子：mpg 解像度：最大720×576 音声形式：MPEG-1 Audio Layer 2 Motion JPEG 拡張子：mov、avi 解像度：最大1280×768 音声形式：リニアPCM、μ-law、IMA-ADPCM
動画*4*5*6	ビットレート：最大28 Mbps フレーム数：最大60 p
バックグラウンド 音楽*4	MP3 拡張子：mp3 ビットレート：32 kbps～320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応 サンプリング周波数：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz AAC 拡張子：m4a ビットレート：32 kbps～320kbps、可変ビットレート（VBR）対応 サンプリング周波数：8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz リニアPCM 拡張子：wav サンプリング周波数：44.1 kHz、48 kHz
最大再生画素数*7	16,384 × 12,288 (Progressive JPEGは、2200万画素まで再生可能)
ファイルシステム	FAT12/16/32/exFAT
画像ファイル名	DCF形式、256文字8階層以下 * ファイル名に半角英数字以外の文字が使用されている場合、ファイルが認識されない場合があります。
最大画像ファイル数	内蔵メモリー、メモリーカード1枚につき9,999枚
内蔵メモリー容量*8	2 GB（保存ファイル数*9：約4000枚）
電源	DC IN端子入力、DC5V

型名	DPF-HD800
消費電力	
ACアダプター含む	最大消費電力：10.7 W、標準消費電力：5.5 W
本体のみ	最大消費電力：8.5 W
	* 通常モードの定義は“出荷時設定にて内蔵メモリー内に保存したデータをスライドショーしている状態でメモリーカードを取り付けていない状態”です。
動作温度	5℃～35℃
外形寸法 (幅／高さ／奥行き)	約220 mm×151.4 mm×117.8 mm
スタンドセット時	
壁掛け時	約220 mm×151.4 mm×29.4 mm
質量 (ACアダプター含まず、スタンド含む)	約490 g
同梱品	「準備① 同梱品を確認する」(9ページ) 参照

ACアダプター

型名	AC-P5022
定格入力	AC100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz、0.4 A
定格出力	DC 5 V、2.2 A
外形寸法 (奥行／幅／高さ)	約79 mm×34 mm×65 mm (最大突起部のぞく)
質量	約105 g

その他の仕様については、ACアダプターのラベルをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

- *1 データの種類によっては再生できないものや正しく再生されない場合があります。
- *2 3D表示はできません。代表画像を2D表示します。
- *3 ソニー αカメラのRAWファイルサムネイルがそのまま表示されます。
- *4 著作権保護されたファイルは再生できません。
- *5 データの種類、メモリーカードの転送速度によってはコマ落ちする場合があります。
- *6 一部動画ではコマを間引いて再生しています。
- *7 17×17以上ある必要があります。縦横の比が20：1以上ある画像は正しく表示できない場合があります。また、20：1以下でもサムネイル表示や、スライドショーで表示されない場合があります。
- *8 容量は、1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。また、管理用ファイル、アプリケーションなどを含むため、実際に使用できる容量は減少します。ご使用頂けるユーザー容量は、約1.8GBです。
- *9 保存枚数は、リサイズして画像取込を行った際の目安です。リサイズして画像取り込みを行った場合、200万画素相当に自動的にリサイズされます。被写体および撮影条件によって異なります。

商標およびライセンスについて

- S-Frame、Cyber-shot、**α**、
“Memory Stick”、、“メモリースティック”、**MEMORY STICK**、“Memory Stick Duo”、“メモリースティック Duo”、“メモリースティック デュオ”、**MEMORY STICK DUO**、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲートメモリースティック”、“Memory Stick PRO”、“メモリースティック PRO”、**MEMORY STICK PRO**、“Memory Stick PRO Duo”、“メモリースティック PRO Duo”、“メモリースティック PRO デュオ”、**MEMORY STICK PRO DUO**、“Memory Stick PRO-HG Duo”、“メモリースティック PRO-HG Duo”、**MEMORY STICK PRO-HG DUO**、“Memory Stick Micro”、“メモリースティック マイクロ”、**MEMORY STICK MICRO**、**M2**、“Memory Stick-ROM”、“メモリースティック-ROM”、**MEMORY STICK-ROM**、“MagicGate”、“マジックゲート”、**MAGIC GATE**は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国におけるApple Inc.の登録商標です。
- SDロゴ、SDHCロゴ、SDXCロゴは、SD-3C、LLCの商標です。
- Monotype Imaging Inc.のフォントを搭載しています。iType™は、Monotype Image inc.の商標です。
- Dolby、ドルビーは、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、™、©マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

- 本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているMPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号（以下、MPEG 4 VIDEOといいます）にエンコードすること。
- (ii) MPEG-4 VIDEO（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限り得ます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページ（[HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)）をご参照ください。

- 本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。
- (ii) AVC Video（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEGLAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限り得ます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

→ 2 ページもあわせてお読みください。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。



内部に水や異物（金属物や燃えやすい物など）を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜き、接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。



DC コードを傷つけない

DC コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- DC コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重い物をのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- DC コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、DC コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に変換をご依頼ください。



機器本体や付属品は、幼児の手の届かない場所におく

内部に手を入れると、挟まれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをすることがあります。“メモリースティック デュオ”などのメモリーカードや、デュオサイズの“M2”アダプターなどの変換アダプターを飲み込む恐れがあります。幼児の手の届かない場所に置き、お子様が触らぬようご注意ください。

万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



付属の AC アダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となることがあります。





注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、使用しないでください。感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所では使わない

火災や感電の原因となります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配置する

DC コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。



指示

通電中の本機や AC アダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



接触禁止

移動させるとき、長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

本機やAC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

本体内部の部品をさわらない

機構部品により、けがの原因となることがあります。

また、高温になった部品にさわると、火傷の原因となることがあります。ケースが破損しても本体内部の部品には触れないでください。高電圧部品により感電することがあります。



接触禁止

スタンドを持って本体を持ち上げない

スタンドがゆるんで落下し、故障や障害、又は怪我の原因になることがあります。

持ち運びの際は、落とさないよう本体をしっかりと持ちください。



禁止



注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

本体の上に乗らない、重いものを載せない、ぶら下からない

落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面に強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

お手入れの際は、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



指示

コネクタはきちんと接続する

- コネクタの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。



指示

DC コードや接続ケーブルを AC アダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。



禁止

雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない

本機や電源プラグなどに触れると感電の原因となります。



接触禁止

デバイスの取り付け、または取りはずすときは本体を持つ

メモリーカード、コネクタなどを本機に取り付けたり、取りはずすときは、本体に手を添えて行ってください。

本機が落ちると、けがの原因となることがあります。



指示

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱によるけがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



ぬれ手禁止



指示

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください



禁止

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



禁止

⚠ 注意

指定以外の電池を使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

指定の電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。



禁止

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



指示

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す



指示

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

リモコンの電池ホルダーを開けて使用しない



指示

リモコンの電池ホルダーを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

指定の電池を使用し、電池ホルダーを閉めて使用してください。

索引

五十音順

ア行

安全のために	2, 61
一枚表示	
[画像全体]	19
[画像全体（情報表示あり）] ..	19
[画面いっぱい]	19
[画面いっぱい（情報表示あり）]	19
画面表示を切り換える	17
お手入れ	55
音楽	
音楽ファイルを削除する	27
音楽ファイルを取り込む	26
スライドショーを音楽といっしょに楽しむ（BGM）	25
音量	21, 25

カ行

回転する	29
拡大する	28
各部の名前	5
画像サイズを調整する	
拡大	28
縮小	28
画像操作	
[回転]	29
[書き出し]	35
[拡大表示]	28
[削除]	33
[絞り込み表示]	32
[内蔵メモリーに取り込み] ...	22
[マーク操作]	30

画像を書き出す	35
画像を絞り込む	32
壁にかけて使用する	11
画面に表示される情報	20
[言語設定]	43
[工場出荷状態に戻す]	43
設定の初期化	43
内蔵メモリーの初期化	43
故障かな？と思ったら	48
コピー	
音楽をコピーする	47
画像をコピーする	46
コンピューター	
コンピューターから画像や音楽をコピーする	46
コンピューターとの接続を切断する	45
コンピューターに接続する ...	44
必要なシステム構成	45

サ行

再生	
スライドショー	15
動画	21
BGM	25
再生可能なファイル	
フォーマット	57
再生するメモリーを選ぶ	24
再生デバイス選択	24
削除	
音楽ファイルを削除する	27
画像を削除する	33

差し込む	
メモリーカード	15
USBメモリー	15
[自動電源ON/OFF設定]	37
[オートオフ設定]	39
[詳細設定]	38
[シンプル設定]	39
縮小する	28
使用上のご注意	55
初期画面	12
スタンドを取り付ける	10
[スライドショー設定]	41
スライドショーの表示	
画面表示を切り換える	17
[カレンダー]	18
[シングル]	18
[タイムマシン]	18
[時計]	18
[マルチ]	18
[ランダム]	18
スライドショーを音楽といっしょ に楽しむ (BGM)	25
スライドショーを楽しむ	15
[スライドショー BGM設定]	25
接続	
コンピューターに接続する ...	44
USBメモリー	15
設定を工場出荷状態に戻す	40
タ行	
タイマー	37
デモンストレーション画面	12
電源を入れる	13
電源を切る	13
同梱品	9
[時計設定]	42

取り込み	
音楽ファイルを取り込む	26
画像を保存する	22

ナ行

内蔵メモリーを初期化する	34
--------------------	----

ハ行

ビューモード	17
一枚表示	17
インデックス	17
スライドショー	17
時計・カレンダー	17

保存

静止画 (写真) を保存する ...	22
動画を保存する	23
本機で使えるメモリーカード／ USBメモリー	7
[本体情報表示]	43
[本体設定]	42

マ行

マークを付ける	30
メモリーカード	
アダプターの取り付け	7
差し込む	15
取り出す	15
“メモリースティック デュオ”	55
SDメモリーカード	7, 56

ラ行

リフレッシュモード	53
リモコン	6, 53
リモコンの電池を交換する ...	54

アルファベット順

A

ACアダプター 12

B

BGM 25

M

「MUSIC」フォルダー 47

U

USB端子 15, 44

USBメモリー 7, 15

記号

一枚表示 (一枚表示) 17

 (インデックス) 17

 (画像操作)
..... 22, 28, 29, 30, 32, 35

 (関連付けファイル) 20

 (再生デバイス選択) 24

 (スライドショー) 17

 (設定) 14, 37, 40

 (動画ファイル) 20

 (時計・カレンダー) 17

 (プロテクト) 20

 (マーク操作) 20, 30

memo

memo

memo

■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる



デジタルフォトフレームの商品や最新サポート情報（製品に関するQ&A、OS対応情報など）はこちらのホームページから
<http://www.sony.jp/s-frame/>

メモリースティック対応表

使用可能な“メモリースティック”を確認できます。
<http://www.sony.jp/memorystick/compatible/>

電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください。）



よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル…………… 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話…050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル…………… 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話…050-3754-9599
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通）0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に

➡ **「403」+「#」**

を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

■ 製品登録のご案内

製品登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、下記のご登録WEBサイトをご覧ください。

<http://www.sony.co.jp/dpp-regi/>

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

© 2013 Sony Corporation

この説明書は VOC（揮発性有機化合物）
ゼロ植物油型インキを使用しています。

<http://www.sony.co.jp/> Printed in China